

S01P0723 VS00

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JC997 U.S. PTO  
09/853845  
05/11/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 5月12日

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-139677

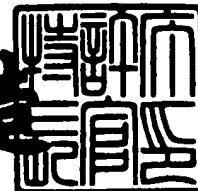
願 人  
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年 3月 9日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3018135

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000169105

【提出日】 平成12年 5月12日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 G06F 9/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 鈴木 徹

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 久岡 信弘

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 栗原 潤一

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 明石 達也

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 尾崎 淳子

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 宗中 美佳

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100082762

【弁理士】

【氏名又は名称】 杉浦 正知

【電話番号】 03-3980-0339

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 043812

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708843

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サービス提供装置および方法、受信端末装置および方法、サービス提供システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供装置において、

送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成された上記インデックス画像をネットワークを介して第 1 のコンピュータから第 2 のコンピュータへ伝送する手段と、

伝送された上記インデックス画像を見て、ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集する手段と

からなることを特徴とするサービス提供装置。

【請求項 2】 サーバに上記画像データを保存するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 3】 上記画像データは、フォーマット変換することによって、上記第 1 のコンピュータで扱いやすいデータフォーマットへ変換され、サーバに保存されるようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 4】 フォーマット変換された上記画像データは、MPEG2 フォーマットのデータとしたことを特徴とする請求項 3 に記載のサービス提供装置。

【請求項 5】 編集された上記画像データは、上記ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 6】 上記インデックス画像は、上記画像データの一定時間毎の静止画像としたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 7】 上記インデックス画像は、上記画像データの特定のシーンの静止画像としたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 8】 上記インデックス画像は、自動的に生成されるようにしたことを特徴とする請求項 6 または 7 に記載のサービス提供装置。

【請求項 9】 上記インデックス画像は、低解像度の縮小画像からなるサムネイル画像としたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 10】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 11】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、伝送される上記編集コマンドが終了した後に、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 12】 上記画像データの編集は、上記編集コマンドを記録し、記録された上記編集コマンドに基づいて、第 3 のコンピュータで行うようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 13】 送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供方法において、

送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成された上記インデックス画像をネットワークを介して第 1 のコンピュータから第 2 のコンピュータへ伝送するステップと、

伝送された上記インデックス画像を見て、ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集するステップと  
からなることを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 14】 サーバに上記画像データを保存するようにしたことを特徴とする請求項 13 に記載のサービス提供方法。

【請求項 15】 上記画像データは、フォーマット変換することによって、上記第 1 のコンピュータで扱いやすいデータフォーマットへ変換され、サーバに保存されるようにしたことを特徴とする請求項 13 に記載のサービス提供方法。

【請求項 16】 フォーマット変換された上記画像データは、MPEG2 フォーマットのデータとしたことを特徴とする請求項 15 に記載のサービス提供方

法。

【請求項 1 7】 編集された上記画像データは、上記ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送するようにしたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 1 8】 上記インデックス画像は、上記画像データの一定時間毎の静止画像としたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 1 9】 上記インデックス画像は、上記画像データの特定のシーンの静止画像としたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 0】 上記インデックス画像は、自動的に生成されるようにしたことを特徴とする請求項 1 8 または 1 9 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 1】 上記インデックス画像は、低解像度の縮小画像からなるサムネイル画像としたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 2】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 3】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、伝送される上記編集コマンドが終了した後に、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 4】 上記画像データの編集は、上記編集コマンドを記録し、記録された上記編集コマンドに基づいて、第 3 のコンピュータで行うようにしたことを特徴とする請求項 1 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 2 5】 送付した記録媒体に記録されている画像データのインデックス画像を、ネットワークを介して受信する手段と、

上記インデックス画像を見て、編集コマンドを伝送する手段とからなることを特徴とする受信端末装置。

【請求項 2 6】 送付した記録媒体に記録されている画像データのインデックス画像を、ネットワークを介して受信するステップと、

上記インデックス画像を見て、編集コマンドを伝送するステップと  
からなることを特徴とする受信端末方法。

【請求項 2 7】 会員から送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供システムにおいて、

会員から送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成された上記インデックス画像をネットワークを介して第 1 のコンピュータから第 2 のコンピュータへ伝送する手段と、

伝送された上記インデックス画像を見て、ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集する手段と

からなることを特徴とするサービス提供システム。

【請求項 2 8】 サーバに上記画像データを保存するようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 2 9】 上記画像データは、フォーマット変換することによって、上記第 1 のコンピュータで扱いやすいデータフォーマットへ変換され、サーバに保存されるようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 0】 フォーマット変換された上記画像データは、MPEG 2 フォーマットのデータとしたことを特徴とする請求項 2 9 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 1】 編集された上記画像データは、上記ネットワークを介して上記第 2 のコンピュータから上記第 1 のコンピュータへ伝送するようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 2】 上記インデックス画像は、上記画像データの一定時間毎の静止画像としたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 3】 上記インデックス画像は、上記画像データの特定のシーンの静止画像としたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 4】 上記インデックス画像は、自動的に生成されるようにしたことを特徴とする請求項 3 2 または 3 3 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 5】 上記インデックス画像は、低解像度の縮小画像からなるサムネイル画像としたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 6】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 7】 上記第 1 のコンピュータでは、伝送される上記編集コマンドの履歴を記録し、伝送される上記編集コマンドが終了した後に、記録された上記編集コマンドの履歴に基づいて、上記画像データを編集するようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3 8】 上記画像データの編集は、上記編集コマンドを記録し、記録された上記編集コマンドに基づいて、第 3 のコンピュータで行うようにしたことを特徴とする請求項 2 7 に記載のサービス提供システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ユーザのコンピュータの性能に関係なく容易にビデオデータを編集することができるネットワークを利用したサービス提供装置および方法、受信端末装置および方法、サービス提供システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、VTR 一体型デジタルカメラ（以下、デジタルカメラと称する）などで撮影したビデオデータを編集する場合、高価なビデオ編集装置を購入し、そのビデオ編集装置を操作する方法と、ビデオ編集専門の業者に依頼する方法とがあった。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ビデオ編集装置を購入し、操作する方法は、初期投資が多額になり、大型とな



るビデオ編集装置を設置するスペースが必要であり、さらにランニングコストも高価になる問題があった。

【 0 0 0 4 】

ビデオ編集専門の業者に依頼する方法は、専門の業者の人件費が高額になることや、依頼者の考えどおりに編集するためには、依頼者と編集者との十分な意志の疎通が必要となるために時間がかかる問題があった。

【 0 0 0 5 】

また、ユーザがコンピュータを使って簡便に編集できるソフトウェアや、ハードウェアも発売されているが、その速度や容量には、限界があり、高額で購入したこれらの機器がコンピュータの進歩によってすぐに陳腐化してしまうという問題もあった。

【 0 0 0 6 】

従って、この発明の目的は、コンピュータの性能に関係なく、容易にビデオデータの編集ができるサービス提供装置および方法、受信端末装置および方法、サービス提供システムを提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の発明は、送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供装置において、送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成されたインデックス画像をネットワークを介して第 1 のコンピュータから第 2 のコンピュータへ伝送する手段と、伝送されたインデックス画像を見て、ネットワークを介して第 2 のコンピュータから第 1 のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集する手段とからなることを特徴とするサービス提供装置である。

【 0 0 0 8 】

請求項 1 3 に記載の発明は、送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供方法において、送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成されたインデックス画像をネットワークを介して第 1 のコンピュータから第 2 のコンピュータへ伝送するステップと、伝送されたイン

デックス画像を見て、ネットワークを介して第2のコンピュータから第1のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集するステップとからなることを特徴とするサービス提供方法である。

【0009】

請求項25に記載の発明は、送付した記録媒体に記録されている画像データのインデックス画像を、ネットワークを介して受信する手段と、インデックス画像を見て、編集コマンドを伝送する手段とからなることを特徴とする受信端末装置である。

【0010】

請求項26に記載の発明は、送付した記録媒体に記録されている画像データのインデックス画像を、ネットワークを介して受信するステップと、インデックス画像を見て、編集コマンドを伝送するステップとからなることを特徴とする受信端末方法である。

【0011】

請求項27に記載の発明は、会員から送付された記録媒体に記録された画像データの編集環境を提供するサービス提供システムにおいて、会員から送付された画像データからインデックス画像を作成し、作成されたインデックス画像をネットワークを介して第1のコンピュータから第2のコンピュータへ伝送する手段と、伝送されたインデックス画像を見て、ネットワークを介して第2のコンピュータから第1のコンピュータへ伝送される編集コマンドに基づいて、画像データを編集する手段とからなることを特徴とするサービス提供システムである。

【0012】

会員からサービス提供会社に送付された記録媒体に記録された画像データを、ネットワークを介して編集することができる。そのとき、サービス提供会社から会員へ、会員の画像データのインデックス画像が伝送され、そのインデックス画像を見て、会員から編集コマンドがサービス提供会社へ伝送される。その編集コマンドに従って、サービス提供会社では、画像データが編集される。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の一実施形態について図面を参照して説明する。なお、各図に亘り同じ効果を有するものには、同一の参照符号を付し、説明の重複を避ける。図 1 は、この発明が適用された一実施形態を示す。この図 1 では、ユーザは、デジタルカメラ 1、コンピュータ 2 および編集ソフトウェア 3 を所有し、サービス提供会社は、フォーマット変換器 4、サーバ 5、コンピュータ 6、8、編集ソフトウェア 7 および 9 を所有する。会員のコンピュータ 2 と、サービス提供会社のコンピュータ 6 と、コンピュータ 8 と、サーバ 5 とは、それぞれネットワーク 10 で接続されている。

#### 【0014】

この一実施形態では、一例としてユーザがデジタルカメラ 1 で撮影したビデオデータを編集するために、まず編集するビデオデータが記録された記録媒体をサービス提供会社に送付する。このとき、ユーザは、サービス提供会社を利用することができる会員または会員に相当する権利を有する必要がある。

#### 【0015】

会員からサービス提供会社に送付された記録媒体に記録されたビデオデータは、フォーマット変換器 4 によってコンピュータで扱いやすい画像フォーマットの一例として M P E G 2 フォーマットのデータ（以下、単に M P E G 2 データと称する）に変換される。M P E G 2 データに変換されたビデオデータは、サーバ 5 に保存される。このとき、一例として図 2 A に示すように、M P E G 2 データの一定時間毎の画像を静止画のインデックス画像としてデータベースを作成する。

#### 【0016】

図 2 A に示すデータベースは、シーンの番号、そのシーンの開始の絵、終了の絵、開始時刻、終了時刻などのデータから構成され、図 2 B は、記録媒体に記録されたビデオデータまたはサーバ 5 に保存された M P E G 2 データを時間方向に示したものである。この図 2 B に示すビデオデータまたは M P E G 2 データの一定時間毎の開始時刻の開始の絵と、終了時刻の終了の絵とがインデックス画像として切り出され、図 2 A に示すデータベースが作成される。作成されるデータベースに用いられるインデックス画像の一例として、低解像度の縮小画像、いわゆるサムネイル画像を用いるようにしても良い。

## 【 0 0 1 7 】

サービス提供会社の所有するコンピュータ 6 および 8 は、十分に高い性能を有するコンピュータであり、それぞれ編集用ソフトウェア 7 および 9 がインストールされている。会員は、ネットワーク 1 0 に接続されたコンピュータ 2 の編集ソフトウェア 3 を操作することによって、後述するようにコンピュータ 6 の編集用ソフトウェア 7 が制御され、M P E G 2 データを編集することができる。

## 【 0 0 1 8 】

このように、まずサービス提供会社は、会員から編集するビデオデータが記録されている記録媒体を預かる。サービス提供会社は、郵送または宅配便などの直接送付方法、またはコンビニエンスストアを通した集配システムまたは家電販売店などを通した集配方法などによって、会員から記録媒体を受け取る。サービス提供会社は、送付されたビデオデータを再生し、これを M P E G 2 などのコンピュータ上のデジタルデータに変換し、保存用のサーバ 5 に保存する。このとき、画像の中のシーンを一定時間毎に静止画にしたインデックス画像のデータベースを作成する。

## 【 0 0 1 9 】

そして、会員は、ネットワーク 1 0 に接続されたコンピュータを操作して、サービス提供会社のコンピュータ 6 または 8 にアクセスして、自分のビデオデータの編集作業を行うことができる。このとき、編集作業には、図 2 A に示すようなインデックス画像のデータベースが使用される。これにより、ネットワーク回線の負担を少なくすることができるので、速やかに編集作業を行うことができる。また、編集作業には、メモリやディスクスペースなどの多くのコンピュータ資源を必要とするが、サービス提供会社で用意されるコンピュータの性能は、十分高く、メモリやディスクは十分用意されているために、スムーズな作業を行うことが可能である。

## 【 0 0 2 0 】

インデックス画像を使って行われた編集作業の後に、図 3 に示すような作業履歴が作成される。編集作業が終了すると、作成される作業履歴を元に、オリジナルの高解像度の画像の編集が行われる。これには、膨大なコンピュータ資源を必要

とするが、サービス提供会社のコンピュータの負荷が軽いときに実行されるので問題はない。

#### 【 0 0 2 1 】

ここで、この一実施形態のシステムの動作を図 4 を参照して説明する。ステップ S 1 において、会員は、自分で撮影したビデオデータの中から編集したいビデオデータが記録された記録媒体を、郵便や宅配便を利用してサービス提供会社へ送付する。また、記録媒体をサービス提供会社へ送付する場合、コンビニエンスストアなどのチェーン店や、家電販売店などの販売網を利用するようにしても良い。そして、サービス提供会社は、送付された記録媒体に記録されたビデオデータをフォーマット変換器 4 によってコンピュータで扱いやすい M P E G 2 データに変換し、サーバ 5 に保存する。また、ビデオデータまたは M P E G 2 データの一部を切り出したインデックス画像のデータベースを作成して同じサーバ 5 に保存する。このインデックス画像は、図 2 A のデータベースに示すように、シーンの番号、そのシーンの開始の絵、終了の絵、開始時刻、終了時刻などのデータを有する。このデータベースは、開始時刻と終了時刻とが一定時間になっている。

#### 【 0 0 2 2 】

ステップ S 2 において、サーバ 5 に保存されているデータベースがコンピュータ 6 に伝送される。

#### 【 0 0 2 3 】

ステップ S 3 において、会員は、コンピュータ 2 で動作する編集ソフトウェア 3 を動作させる。編集ソフトウェア 3 が動作したコンピュータ 2 は、ネットワーク 1 0 を経由してサービス提供会社のコンピュータ 6 を制御することができる。コンピュータ 6 では、編集ソフトウェア 7 が動作し、サーバ 5 に保存されている会員のインデックス画像が読み込まれる。会員は、コンピュータ 6 で動作する編集ソフトウェア 7 を操作して、インデックス画像の編集を行う。このとき、ネットワーク 1 0 の回線が細くても容量の小さいインデックス画像のみをコンピュータ 6 からコンピュータ 2 へ伝送するので回線の負担は小さく、データを短時間で伝送することができる。そして、コンピュータ 2 では、伝送されたインデックス画像を見て、編集コマンドをコンピュータ 6 へ伝送するため、負担も小さくでき

、高速で編集を行うことができる。なお、コンピュータ 6 は、十分な能力とメモリ、ディスクスペースが用意されているために、高速で快適な編集環境を会員に提供することができる。

## 【 0 0 2 4 】

ステップ S 4 において、コンピュータ 6 では、会員の M P E G 2 データの編集が全て終了すると、上述した作業履歴が作成される。作成された作業履歴は、コンピュータ 6 からコンピュータ 8 へ伝送される。この作業履歴に記載されている手順に従えば会員の編集を再現することができる。コンピュータ 8 では、編集ソフトウェア 9 が動作しており、コンピュータ 6 が作成した作業履歴に基づいて、サーバ 5 に保存された会員の高解像の M P E G 2 データが呼び出され、編集が行われる。コンピュータ 8 は、高速のコンピュータで十分なメモリと、ハードディスクスペースとを有しており、高速で M P E G 2 データの編集作業をすることができる。コンピュータ 6 と、コンピュータ 8 とは、同じコンピュータでも良いが、コンピュータ 8 を画像の編集を専用に行う特殊な機械とすることでより高速に高解像の画像の編集を劣化を生じることなく実現することが可能となる。

## 【 0 0 2 5 】

ステップ S 5 では、コンピュータ 8 において編集が終了した M P E G 2 データが再びサーバ 5 に保存される。会員は、この編集が終了した M P E G 2 データをコンピュータ 2 にダウンロードして、自分のコンピュータ 2 で楽しむことができる。また、会員が指定した記録媒体にサービス提供会社がフォーマット変換を行い、例えば C D - R などを作成して会員へ送付するようにしても良い。

## 【 0 0 2 6 】

上述したようにサービス提供会社から編集のために表示されるインデックス画像の代わりにサムネイル画像を使用するようにしても良い。サムネイル画像には、さまざまな解像度を適宜選択することができるので、低速の回線しか利用できない会員に対しては、より低解像度のサムネイル画像を選択して、編集作業の高速化を実現することができる。また、高速のネットワークが利用できる会員に対しては、最適な解像度のサムネイル画像を提供することにより、よりわかりやすい編集環境を提供することが可能である。

## 【 0 0 2 7 】

この一実施形態では、図 2 A に示すデータベースを使用しているが、図 5 A に示すようなデータベースを使用しても良い。この図 5 A に示すデータベースは、シーンの切り替え部分や、特定のシーンとなる部分をインデックス画像としたものである。図 5 B は、記録媒体に記録されたビデオデータまたはサーバ 5 に保存された M P E G 2 データを時間方向に示したものである。

## 【 0 0 2 8 】

また、インデックス画像を生成するために、自動認識装置または自動認識機能を有するソフトウェアまたはハードウェアによって、シーンの切り替え部分や、特定のシーンとなる部分を抽出するようにしても良い。

## 【 0 0 2 9 】

この一実施形態では、フォーマット変換器 4 およびサーバ 5 は、サービス提供会社が所有しているが、フォーマット変換器 4 および／またはサーバ 5 は、サービス提供会社が所有していなくても良い。すなわち、フォーマット変換器 4 および／またはサーバ 5 を所有する会社と、フォーマット変換器 4 および／またはサーバ 5 を所有していないサービス提供会社とを利用することによって、会員は、上述した一実施形態と同様に、ビデオデータを編集することができる。

## 【 0 0 3 0 】

この一実施形態では、フォーマット変換器 4 において、ビデオデータを、コンピュータで扱いやすい画像フォーマットの一例として M P E G 2 データへ変換しているが、M P E G 2 データのみに限定するものではなく、コンピュータで扱いやすい画像フォーマットであればどのようなものでも良い。

## 【 0 0 3 1 】

この一実施形態では、会員がサービス提供会社にビデオデータを送付するために記録媒体を使用しているが、記録媒体の一例として、磁気テープ、光ディスク、光磁気ディスク、ハードディスクドライブ、I C メモリなど、ビデオデータが記録できるものであればどのようなものでも良い。また、編集後のビデオデータまたは M P E G 2 データを記録媒体に記録し、サービス提供会社から会員に記録媒体を送付するときの、記録媒体の一例として、C D - R としているが、磁気テ

ープ、光ディスク、光磁気ディスクなど、ビデオデータまたはMPEG2データが記録できるものであればどのようなものでも良い。

【0032】

この一実施形態では、会員のコンピュータと、サービス提供会社のコンピュータとは、ネットワークに接続されているが、商用回線を利用したいいわゆるインターネットに代表されるネットワークで接続されても良く、専用回線で接続されても良い。

【0033】

この一実施形態では、会員からサービス提供会社へビデオデータを送付し、ビデオデータの編集を行っているが、画像を除いた音楽または音声からなる音データを会員からサービス提供会社へ送付し、その音データを編集するようにしても良い。例えば、複数のミュージシャンの気に入った曲のみを集めることができる。

【0034】

【発明の効果】

この発明に依れば、会員は自分で高額ビデオ編集機を所有することなく、ネットワークを介した遠隔操作によって、サービス提供会社のコンピュータを操作することができ、ビデオ編集を行うことができる。また、サービス提供会社は、高額編集用装置を多数の会員に利用させることによって、高額編集装置の稼働率を上げることができ、これにより低価格で編集を行うことができるサービスを会員に提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明が適用することができるサービス提供システムの一実施形態のブロック図である。

【図2】

この発明によるインデックス画像のデータベースの一例である。

【図3】

この発明による作業履歴の一例である。



【図 4】

この発明の動作の一例を説明するための略線図である。

【図 5】

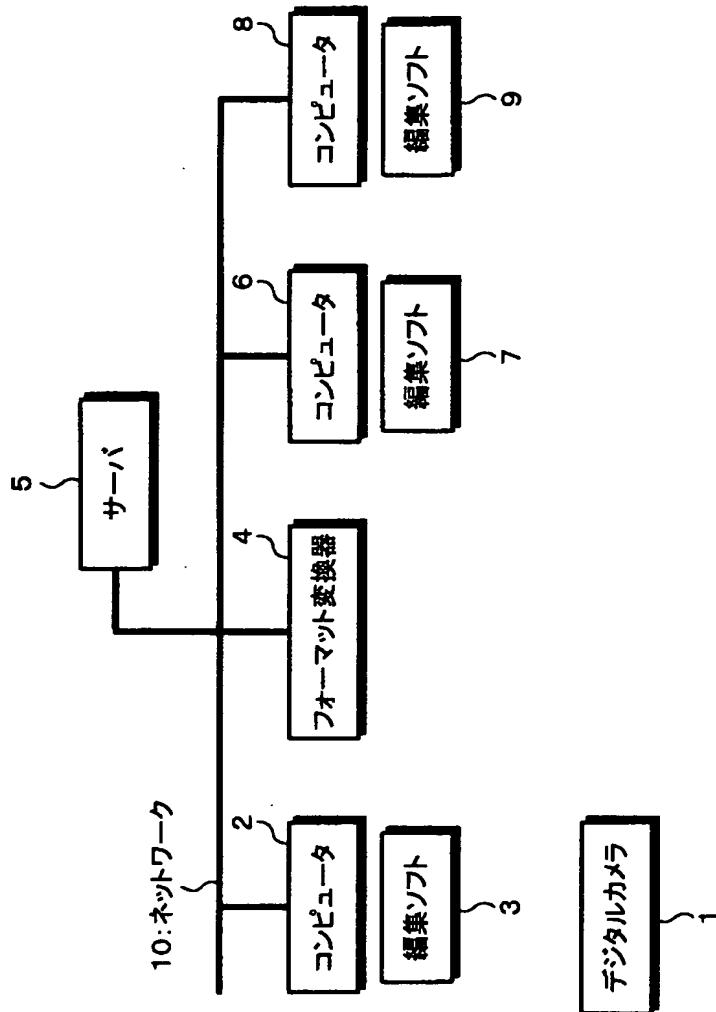
この発明によるインデックス画像のデータベースの他の例である。

【符号の説明】

1・・・デジタルカメラ、2、6、8・・・コンピュータ、3、7、8・・・  
編集ソフトウェア、4・・・フォーマット変換器、5・・・サーバ、10・・・  
ネットワーク

【書類名】 図面

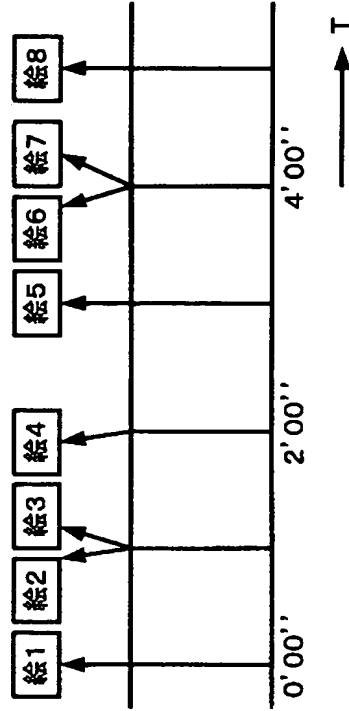
【図 1】



【図 2】

シーン	開始絵	終了絵	開始時刻	終了時刻
001	絵1	絵2	0'00''	1'00''
002	絵3	絵4	1'00''	2'00''
003	絵5	絵6	3'00''	4'00''
004	絵7	絵8	4'00''	5'00''

A



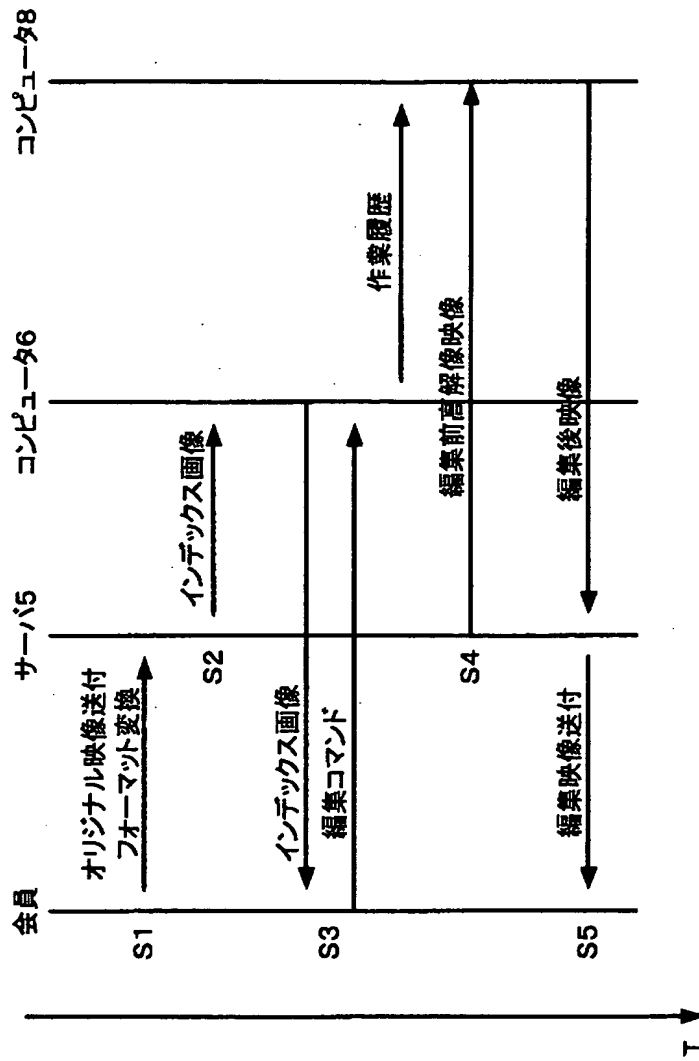
B

【図 3】

## 作業履歴

- |     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| 001 | 素材ファイル1を読み込んでトラック1に置く            |
| 002 | 素材ファイル2を読み込んでトラック2に置く            |
| 003 | トラック2の素材2の開始点をトラック1の素材1の終了点に合わせる |
| 004 | 素材1と素材2のつなぎあわせの部分に特殊効果を入れる       |
| 005 | 素材1の開始点にタイトルを入れる。                |
| 006 | 素材2の終了点にENDマークを入れる。              |

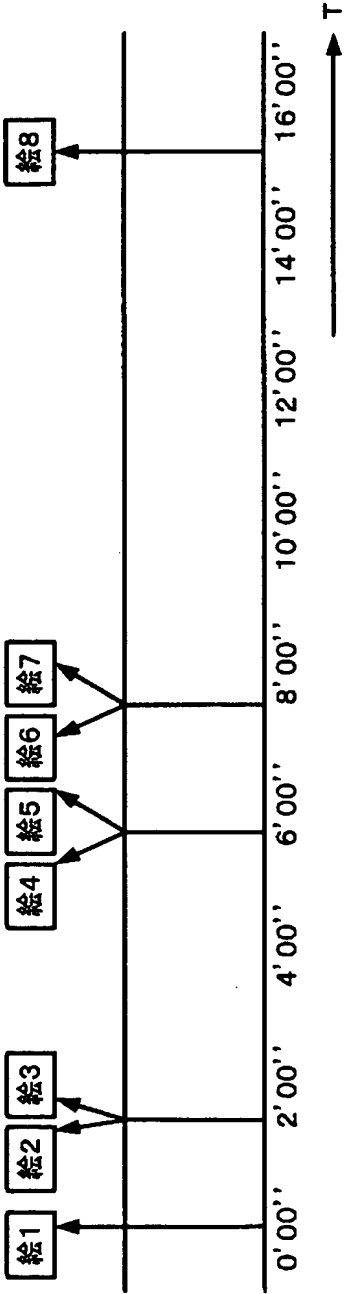
【図 4】



【図 5】

シーン	開始絵	終了絵	開始時刻	終了時刻
001	絵 1	絵 2	0'00''	1'30''
002	絵 3	絵 4	1'30''	5'40''
003	絵 5	絵 6	5'40''	7'45''
004	絵 7	絵 8	7'45''	15'30''

A



B

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンピュータの性能に関係なく、容易にビデオデータが編集できる

【解決手段】 ユーザは、デジタルカメラ 1、コンピュータ 2、編集ソフトウェア 3 を所有し、サービス提供会社は、フォーマット変換器 4、サーバ 5、コンピュータ 6、8、編集ソフトウェア 7、9 を所有する。会員からサービス提供会社に送付された記録媒体に記録されたビデオデータは、フォーマット変換器 4 によってコンピュータで扱いやすい映像フォーマットの一例として M P E G 2 データに変換される。M P E G 2 データに変換されたビデオデータは、サーバ 5 に保存される。このとき、M P E G 2 データの一定時間毎の映像を静止画のインデックス画像としてデータベースが作成される。会員は、ネットワーク 1 0 に接続された編集ソフトウェア 3 を操作することによって、編集用ソフトウェア 7 を制御し、M P E G 2 データを編集することができる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社